

神田山つつじ祭り ~つつじの名所で深める地域の絆~



神田山緑地(新井田字八森平)で毎年開催されている「神田山つつじ祭り」について、旭ヶ丘町内連合会山口信義やまぐちしんぎ会長にお話を伺いました。

○神田山とつつじ

昭和51年から鹿友会ろくゆう(鹿島建設(株)八戸出張所とその協力会社の親睦組織)によりつつじの寄贈植樹が継続され、今ではその本数が7千本ほどになりました。

平成9年、隣接地に東公民館が建設され、遊歩道、東屋も整備され、憩いの場として一層の充実が図られました。現在、つつじの名所として市民から親しまれています。

○神田山つつじ祭りとは

平成7年から始まった神田山つつじ祭りは、例年5月下旬から6月上旬頃、旭ヶ丘・町畑・湊高台の3地区の連合町内会、地域諸団体、地区小・中学校、東公民館で構成される東公民館運営協力会が主体となり、実行委員会を立ち上げ、開催しています。

祭り当日は、色鮮やかに咲き誇るつつじを観賞したり、芸能発表会や子どもを対象としたゲームを楽しんだり、出店の食べ物を味わったりします。

○地域をつなぐお祭り

このお祭りは、3地区の皆さんをつなぐお祭りです。開催準備で協力し合うのはもちろんのこと、当日は、地区の保育園等による芸能発表や、中・高校生のボランティア協力もあり、地域の老若男女が一緒にお祭りを盛り上げます。

子どもたちが多く参加することで、その様子を見に来る家族も増え、世代を超えた地域住民の交流の場となっています。また、3地区の交流が深まることに伴い、それぞれの地区の取組が、他の地区の参考となり、地区全体の活動の活発化につながっているところもあります。

○今後について

町内会や地域諸団体の役員の高齢化が進み、地域の若い人にいかに参加してもらおうかと考えています。これまでも、PTAの皆さんには、ご協力をいただいておりますが、小・中学校の父親からなる「おやじの会」など、地域の若い方々の力をお借りして、お祭りのみならず、さまざまな地域活動を行っていければと思います。



神田山緑地に咲くつつじ

※東地区は旭ヶ丘・町畑・湊高台の3地区の総称です。